

# 西アフリカ沿岸諸国（ガーナ、ブルキナファソ、ベナン、トーゴ、コートジボワール）におけるテロおよび暴力的過激主義の防止と対処に関する国家と市民社会活動家の対応能力強化



## ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：40万米ドル

主なパートナー：日本政府、コフィ・アナン国際平和維持訓練センター（KAIPTC）

### 目的

このプロジェクトは、西アフリカにおける平和と安全の向上、テロおよび暴力的過激主義への対策に関する戦略の理解促進、ならびに西アフリカサブ地域におけるテロおよび暴力的過激主義の防止と管理に関する能力の向上に寄与することを目指します。

### プロジェクトの成果

**成果1：**テロおよび暴力的過激主義の防止と対処に関する国境管理担当者と市民社会活動家の能力を向上させること

**成果2：**テロおよび暴力的過激主義の防止と対処に対する、根拠に基づくコミュニティの関与と全国規模での協力を促進すること

### SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標16に貢献します。



From  
the People of Japan

### 開発課題

テロおよび暴力的過激主義は、アフリカ、とりわけサヘル地域で勢力を強め続けています。民間人と軍人を無差別に対象として繰り返し行われる過激主義者と武装勢力による攻撃は多大な損害をもたらし、非常に懸念されます。

2017年3月のイスラムとムスリムの支援団（JNIM）の結成は、サヘル地域における暴力的過激主義のあり方を変えました。アンサール・ディーン、マーシナ解放戦線、アル・ムラービトゥーン、およびイスラム・マグレブ諸国のアルカイダ（AQIM）の同盟から発生したJNIMは、その活動範囲を急速にマリからニジェールおよびブルキナファソにまで広げ、現在の地理的な中心はブルキナファソおよび西アフリカ沿岸諸国となっています。

したがって、テロに対処し暴力的過激主義の広がりを防止するために、沿岸諸国においては国家の治安組織と市民社会が協働し、その能力を強化することが必要です。